

.....編集後記.....

◆今年はずばくぶりに暑い夏が戻ってきたように思われます。日本は、昼の最も長い夏至の頃が雨期に当り、なかなかトゥワイライトタイムを楽しむということができません。そのかわり、単純な雨期と乾期の繰り返しでない、季節の移り変りを十分満喫する四季に恵まれています。しかし、この頃の東京は季節変化の中に人工的な現象が侵入してきていると聞きます。

◆現在、資源の問題はいかに確保するかということからいかに廃棄するか、あるいはどのような循環系を選ぶかに移りつつあるようです。地熱開発も、エネルギーセキュリティ確保の視点からだけでなく地球環境をも含む視点で捉え直されようとしています。今月号と来月号に渡って「地熱」特集を組みました。本特集は、1992年度地質調査所研究講演会(主催 地質調査所、日本産業技術振興協会)をもとに、関連した話題も含め、幾人かの方々に筆をおこしていただいたものです。

(宮崎光旗 記)

◆北海道大学名誉教授の八木健三先生からは、ブラジルでの地球環境サミットに行かれる直前のご多忙な時期であったにもかかわらず、本誌にご寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

(佐藤興平 記)

.....
〔訂正とお詫び〕

6月号グラビア第3ページ大岩郷の写真は秋吉台科学博物館の配川武彦氏が撮影したものです。ここに訂正しお詫びいたします。

地質ニュース編集委員会

委員長: 佐藤壮郎

副委員長: 佐藤興平・磯部一洋

幹事: 宮崎光旗・奥村公男

委員: 柴田 賢・滝沢文教・岡村行信・村岡洋文・

渡部芳夫・井内美郎・金沢康夫・佐藤岱生

事務局: 総務部業務課広報係(山口秀樹・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

原稿募集中!

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地 質 ニ ュ ー ス

第456号 1992年8月号
定価 ¥ 770 千 実 費

1992年8月1日 発行

編 集

発 行人

発 行 所

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段南4の2の12
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)

振替口座 東京 1-32466

麹町局私書箱第21号

印 刷

小宮山印刷工業株式会社

©1992 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。